

令和5年度 黒沢まちづくりセンターの主な取組

事業名

スマホ上達カフェの開催

P

●事業実施に至った背景、目的

今年度、浜田市政策企画課が全市的に実施したスマホ教室は、その企画周知段階から当地域内でも話題に上がっており、スマホの使い方に困っている方の多さを感じていた。

一方でスマホ教室は、受け入れ人数や決められたプログラム構成を見ると参加者一人一人への柔軟な対応が難しいのではないかという点（実際にはそこも考慮されていると思うが）や、当地域から開催場所までの距離的な問題もあり、それならば当センターで、カフェ形式で継続的に開催した方が集客や学習効果が高いのではと考え、実施に至った。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

9月 職員ミーティング（事業企画）、センターだよりでの企画周知

知識習得（参考教材としてNHKテキスト「たちまちスマホの達人」を活用）

D

●事業の概要

【開催日時】令和5年10月から12月までの毎週火曜 14:00～15:30（全11回）

【場所】黒沢まちづくりセンター 図書室 【講師】センター職員（齋藤、河野）

【内容】アカウント（ID、パスワード）、アプリのダウンロード、写真撮影と保存、SNS 等

【カフェの進め方】基本的には各回に設定したテーマをもとにプチ講習（60分程度）

その後は質疑応答、操作サポートなど

【参加者実績】のべ60人

C

●事業実施後の振り返り

- ・音楽アプリ導入の回が参加者に刺さった。
- ・自由におしゃべりでき、参加者同士が互いに教え合う心地よい空間を演出できた。
- ・職員のスキルを活かしつつ、職員と地域住民の関係値を高めるよいテーマ設定だった。
- ・プログラムは行き当たりばったりで、実際に上達したかの評価が困難。

A

●令和6年度以降の方向性

- ・スマホは地域住民の関心も課題感も強く需要があるため、引き続き定期的なカフェ開催に取り組んでいく。
- ・スマホの上達を主目的にすると、既受講者と新規参加者の間で熟練度の差が生じてしまうため、どちらかという地域住民同士や地域とセンターとの関係値を高めるツールとしての開催と位置づけて、ゆるく続けていく。

